

子どもの人権

○ あなたの一言で、救われる子どもがいる。

子どもの健やかな成長は、社会みんなの願いです。でも、子ども同士によるイジメや大人による虐待、インターネットの違法・有害情報による悪影響の懸念など、子どもが被害者になる事件が増えています。

「よその家庭の問題」と見て見ぬふりをせず、子どもたちの SOS の声に気づき、地域の人みなで見守ることが、子どもたちの幸せにつながっていき、ひいては自分の幸せにつながっていきます。



○ 地域の人みなで、子どもを見守ろう

● 子どもと大人は、対等な1人の人間

子どもは大人と同じく、一人ひとり個性を持ったかけがえのない存在です。

大人が引いたルールに乗せるだけではなく、独自の考え方や主体的な能力を持つ「大人と対等な、1人の人間」として尊重することが大切です。

● 気づきにくい、家庭内の人権侵害

近年、いじめや体罰、虐待など、子どもが被害者になる事件が大きな社会問題となっています。特に虐待は、家庭という密室で起こるため、発覚しにくいと言うのが現状です。

たとえば、親が「しつけ」のつもりで行っていることでも、子どもの心身や成長にとって有害であれば、それは子どもにとって虐待になります。

● あなたの声が、家庭と子どもの命を守る

虐待は、子どもだけではなく、親からの SOS サインともいえます。経済的問題や家庭の問題が解決されず、行き場のない不安などから虐待をしてしまうケースも多々あります。

もし、あなたが気づいたら、迷わず、すぐに村の窓口で連絡をして下さい。「虐待かも」と疑うことは、親を告発することではなく、その家庭を支援するきっかけとなり、子どもの大切な命を救うことになるのです。地域全体で見守り、助け合うことが、子ども達の幸せにつながります。

○ 一緒に考えよう、子どもの人権

ふだんの生活の中で、見過ごしがちな仕草についても、子どもと一緒に考えてみませんか



● 子どもの意見を無視

つい、「早く宿題しなさい」「もっと頑張りなさい」と言ってしまうことはありませんか。子どもにも言い分や考えがあります。

それをきちんと聞かずに、頭ごなしに否定したりすると、自分の意見をしっかり言えないまま成長してしまうこともあります。まず一度、子どもの意見や希望を聞いたうえで、正しい判断をするのが大人の役目です。

● 子ども同士のいじめ

いじめは、保護者や教師の目の届かないところで行われることが多く、いじめられている本人も、なかなか本当のことを言えないことがあります。

しかし、おどおどした行動をとるようになる、衣服を汚して帰宅するなど、何かしらのサインを子どもは出しています。周囲の大人が、きちんと気づいてあげることが大切です。

● ネグレスト

虐待は、殴るなどの暴力だけとは限りません。病院や学校に連れて行かない、食事を与えないなど、親としての教育・監護を怠る「ネグレスト」も含まれます。こうした背景には、経済的に困窮していることや、親自身が似たような環境で育ってきたことから養育の仕方が分からず、子どもに同じことを繰り返してしまうなどの理由があります。

